

平成30年度 事業報告書

特定非営利活動法人 3keys

1 事業の成果

学習支援事業では通塾費や家庭教師利用費が公費でねん出できるようになった中高生への支援は減らしていき、まだ支援が不足している小学生への支援に注力することができた。独自教材を制作したことによって、より効果的に低学年の基礎学力支援を実現することができ、これまで以上に子どもたちが学習に取り組むようになり、子どもたちの学習習慣の定着や、施設内の学習文化の定着に貢献できたと感じている。また、子どもたちが学校に行かない夏休期間は、施設職員の負担が重く、宿題などの学習が進まないことも多いことから、宿題のサポートに入らせていただき、施設からも喜んでもらったので、今後企業とのタイアップなど、継続的に実施できる方法を検討できたと考えている。

子どもの権利保障推進事業では、主に10代向けの支援サービス検索・相談サイト「Mex（ミークス）」によって、子どもたちの悩みや相談の受け皿作りを継続して行った。前年度の約2倍となる、約28万人がサイトを利用し、内12,000人以上（前年度比約3倍）がどこかの支援機関とつながることができた。匿名性の担保されたインターネット上での相談のニーズの高さを感じている。3keysが直接悩みの相談を行う、「なやみ相談窓口」はMex（ミークス）の利用が多くみられたことから、年度途中から新規受付は停止し、Mex（ミークス）の職員の配置を手厚くした。更に、10代にとってテレビより身近なあるインターネット動画（Youtube など）による啓発動画「ミーのなやみ」の家族・親戚編全4編の作成も行った。野田市で起きた栗原心愛ちゃんの事件を受け、子どもたちや大人にも、虐待や不適切養育の定義・事例を知ってもらうことを目的とし、約1か月間で6万回以上閲覧してもらうことができた。

啓発活動事業では、東京以外にも大阪、名古屋、福岡などでセミナーを開催することができた。また講演でも東京に限らず全国で発信をし、全国の支援機関とのネットワークづくりに力を入れた。その結果、子どもの権利保障推進事業で連携できる団体や支援機関とのつながりも増やすことができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【44,348】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
格差の下にいる子どもたちをはじめとする、学習機会や学習環境に恵まれない子どもたちのために、学習指導を行うボランティアを育成し、マッチングする事業(通称:学習支援事業)	1. 児童福祉施設向けの家庭教師派遣「家庭教師型プログラム」 ・主に中高生向けに目標や悩みにあったボランティア家庭教師(以下、チューター)のマッチングによる派遣 ・指導開始後のチューターへの継続的なフォロー ・施設退所後の継続した学習支援 ・登録ボランティアの保険加入および登録情報の更新	1~3 通年	1. 東京都・神奈川県	1. 常勤1名・ボランティアスタッフ15名・チューター16名	1. 児童養護施設および母子生活支援施設に入所中・または退所済みの中高生(高校生程度)の年齢も含む)	1. 20名 (4施設)	1~4 9,714
	2. 児童福祉施設向け放課後教室運営「教室型プログラム」 ・主に小学生向けに基礎学力の向上を目的とした学習支援・主に小学生向けの教室の運営及びボランティアによる学習サポート ・セールスフォース・ドットCOMの社員ボランティア制度と連携した学習サポート ・オリジナル教材作成および提供		2. 東京都	2. 常勤1名・チューター5名・セールスフォース・ドットCOM15名	2. 児童養護施設に入所中または退所済みの小学生(一部中高生も含む)	2. 53名 (3施設)	
	3. 高齢児向け無料個別指導「COSTA(コスタ)」 ・15~22歳の高齢児向けの学習支援拠点の運営 ・児童福祉関連施設や、定時制高校・通信制高校、オンラインなどを活用した広報活動		3. 東京都新宿区	3. 常勤1名・ボランティアスタッフ2名・チューター4名	3. 15~22歳の通塾・家庭教師を利用していない方	3. 36名 (延べ)	

	4. その他 ・児童養護施設で暮らす子どもたちへの夏休みの宿題サポート実施	4 8 月 1 日、8 日、22 日、29 日	4. 東京 都	4. 延べ 23 名	4. 児童養護施設に入所している小学生～高校生	4. 22 名 (1 施設)	
子どもたちに必要な社会資源をコーディネートし子どもたちの自立及び権利保障を充実させる事業(通称:子どもの権利保障推進事業)	1. なやみ相談窓口 ・相談できる大人が周りにいない、主に 10 代のオンライン相談窓口の運営 ・メールや電話での相談および必要に応じて面会や支援機関への橋渡しなどの実施 2. 10 代向け支援サービス検索・相談サイト「Mex(ミークス)」 ・全国の子どもの支援サービス(計 223 サービス)の掲載 ・10 代向けのコラム配信 56 件 ・Google、Twitter、Instagram などを活用した 10 代向けのサイトの広報活動 ・利用状況の報告(第 18,19 回目 Child Issue Seminar 内) ・福岡、名古屋でのセミナー開催及び広報活動(第 20 回目 Child Issue Seminar 内) ・厚生労働省「自殺対策強化月間(3 月)」への協力(厚生労働省のホームページでの掲載) ・キッズデザイン賞受賞 ・連携協力・継続的なお問い合わせ対応 3. 子どもの権利の啓発動画「ミーのなやみ」 ・家族からの虐待・マルトリートメント啓発のための「ミーのなやみ～家族・親戚編～」計 4 本配信 ・Youtube、Instagram、Twitter、新聞などでの広報	1. 2018 年 4 月～2019 年 3 月(新規受付は 2018 年 4 月～11 月) 2. 通年 3. 2019 年 2 月～	1、2. 全国	1. 常勤 1 名・ボランティアスタッフ 2 名 2、3. 常勤 4 名・非常勤 2 名・ボランティアスタッフ 9 名	1. 10 代～22 歳程度 2. ～22 歳程度	1. 152 件(平均相談日数 12.3 日/件) 2. ユーザー数 291,690 名、支援機関につながった数 12,896 件 3. 6 万 3 千回(3 万 8 千人)	1～3 22,688
日本の子どもたちの現状や、それを取り巻く社会の現状を広域的に周知するための、啓発活動及び広報活動(通称:啓発活動事業)	1. 「Child Issue Seminar」の開催 ・第 18 回目 SNS 世代からの SOS 発信、自殺相談の現場から(講師:自殺対策支援センター ライフリンク代表 清水康之氏) ・第 19 回目「中学中退、不登校、ひきこもり… 絶望を味わった僕がやりたいこと」(講師:キズキグループ代表 安田祐輔氏) ・第 20 回目「インターネット、SNS、10 代に寄り添う～SNS を活用した相談支援の現場から～」 講師:(一般社団法人社会的包摂サポートセンター 広報担当/SNS 担当 広瀬麻弥氏) 2. その他、講演・執筆をはじめとした啓発活動 ・講演回数 14 回(内閣府、国家公務員研修、Yahoo! 基金、ブルデンシャル生命保険株式会社、セールスフォース・ドットコム、四谷ロータリークラブ、生活クラブ 共済事業連合、公益財団法人あすのば 等) ・メディア掲載(執筆含む) 25 回 ※重複あり。こちらで把握しているもののみ。 ▼テレビ:5 回(NHK、NHK 福岡、CBC テレビ、フジテレビ PRIME NEWS、Abema Prime) ▼ラジオ:4 回(放送大学、NHK ラジオセンター、J-WAVE、KBC ラジオ) ▼新聞:4 回(共同通信社、東京新聞、朝日新聞、西日本新聞) ▼Web 記事:10 回(現代ビジネス、Yahoo!ニュース、NHK WEB 特集、毎日新聞ソーシャルアクションラボ 等) ▼その他雑誌・機関紙:3 回 ・年次報告会開催(第 18,19 回目 Child Issue Seminar 内) ・Google や Facebook を活用した広報活動	1. 第 18 回目 2018 年 8 月 21 日(東京) 第 19 回目 2018 年 12 月 18 日(大阪) 第 20 回目 2019 年 1 月 23 日(福岡)・2019 年 1 月 31 日(名古屋) 2. 通年	1. 左記の通り 2. 全国	1. 常勤 2 名 2. 常勤 3 名	1、2. 制限なし	1. 1,193 名 2. 1,010 名(講演参加者数)	1～2 11,946

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載 された 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	事業費 (千円)